



笑顔とぬくもりを大切に 寄り添いながら その人らしい暮らしを支えます

グループホームかたぎはら広報誌

令和6年
春号

NO. 15

きらり かたぎはら

〒615-8156 京都市西京区榎原百々ヶ池 31-18 西京ふれあい地域福祉センター内
TEL (075) 393-2201 Fax (075) 393-2225

お花見イベント



今年も天気の
良い日に合わせて
お花見に行きました

2024年の春は気温の乱高下や雨の日が多い等の影響でなかなか日程を決められませんでした。4月5日から

7日にかけて日を分けての実施となりました。希望される方は屋外でお菓子やお茶を楽しまれ、貴重な晴れ間の中の楽しいひと時となりました。



施設の近くにある史跡公園まで車でお出かけしました！

来年は暖かい晴れの日が続いて、よりお花見を楽しむ事が出来れば良いな〜と、早くも次のお花見の予定を考えています(笑)



節分イベント



2月3日は毎年恒例の節分イベントを開催しました。例年同様1階から3階を鬼が練り歩き、ご利用者様が豆をまいて無病息災を祈願するといったものですが、今回は京都中央看護保健大学の学生の皆様がボランティアに来てくださりました。様々なレクリエーションを実施して頂いたことで一味違うより良いものになったのではないかと思います。

2020年から始まったコロナ禍がやや下火になってきている中で今後も外部からのボランティアの方の協力を得て、イベントを開催していきます。



ひな祭り

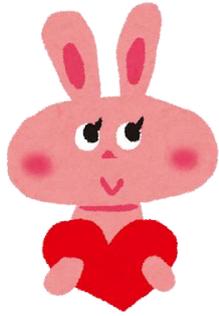


センター玄関にひな壇を設け、地域住民の皆様や、ご利用者様からご持参して頂いたもので飾りつけを行いました。完成した暁には2階3階のご利用者様も1階に足を運び、眺められていました。

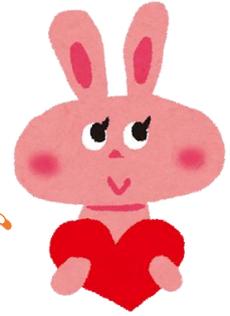
飾りつけ終了後の3月12日には昨年同様龍淵寺さんをお願いし、御祈禱してもらった上で飾りを供養して頂きました。



御祈禱の際の様子



地域住民の皆様と バレンタインイベント



地域の方と施設利用者様・入居者様との交流を目的に昨年に引き続き行いました。昨年も参加された親子様も参加されたりと好評でした。見学に来られた入居者様とも「すごいな！ボン」と子どもの頭を撫でるなど微笑ましい交流がありました。今回は一部利用者様も実際にチョコづくりに参加され、メッセージを書くなどして楽しまれていました。

実際に参加された方の感想



地域住民の方

年齢問わず作れるチョコレート作りだった。2歳でも作ることができたので良かったです。また参加したいと思うイベントでした。



職員

GHの入居者4名様が見学参加されました。自ら側により「すごいなあ」とチョコを作っている小さい子どもの頭をなでておられる方もいました。普段と違った表情が見られ、改めて交流の大切さを感じました。



内部研修～地域と施設との歩みを振り返る～

昨年度でかたぎはらは開設 5 年目を迎えました。そこで今までの地域を巻き込んでの取り組みを振り返るとともに新しい視点を獲得の機会として研修を開催しました。今回は地域の役員さんや西京区社会福祉協議会の方にも参加してもらい、より活発な議論となりました。5 年に留まらず、今後 10 年 20 年と地域の皆様と歩みを共にしていくことが出来ればと考えています。



京都手をつなぐ育成会研修（認知症サポーター養成講座）



障害を抱える子供の家族や、障害者の権利擁護や必要な政策提言への活動をされている方々に、介護保険内外のサービスや認知症を「わが事」と捉えて頂けるよう認知症サポーター養成講座を行いました。今後も継続して研修会を開



催して、オレンジの輪を広げていくことが出来ればと思います！

かたぎはらケアプランセンター



「介護でお困りになっていること ございませんか？」

私たちケアマネジャーがご相談させて頂き、介護保険サービス利用等のお手伝いをさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

「西京ふれあい地域福祉センター内（2F）
TEL (075) 393-2202
FAX (075) 393-2227

新年度の担当者変更に伴い、今回初めて「きらり★かたぎはら」の編集に携わせて頂きました。いままでは「ちょこっと」のみの担当でしたが、「きらり★かたぎはら」の方でもまた新しい取り組みにもチャレンジすることができればと考えています。

今年の夏は例年以上に暑くなるとの予想ですので、皆様水や食事をしっかりと摂ってご自愛ください。

広報担当：米田

「かたぎはらホームページ」へのアクセスは右のQRコードからどうぞ

